ハンドボール教室紹介

記：広報部　新名憲三

皆さんは、新日鐵明野体育館で週に一度「ハンドボール教室」が行われているのをご存知ですか？
現在では、「ハンドボール教室クラブ」として活動がなされていて、大分県小学生ハンドボール競技の大会に毎年2度出場されています。「春季ハンドボール選手権」「秋季ハンドボール選手権」です。
今回私は、男子会場にて試合を見させて頂きましたがレベルの高さにビックリしました。
ディフェンスファールを誘いセットプレーから放たれるエースのロングシュートは県内のトップレベルに匹敵する素晴らしいシュートでした。
ここ近年での男子に関しましては、出場する大会に於いて毎回1勝するなど子供たちの頑張りが結果として表れています。女子も同様に、頑張っている姿が素晴らしいと評価されています。
ハンドボールを通して、心技体を鍛えて素晴らしい人格形成をして頂きたいです。応援しています！

★　★　★　ハンドボール教室スタッフからのメッセージ　★　★　★

1日限定のハンドボール教室が、新日鐵体育館でハンドボール協会主催で開催されたのは、10年ほど前のことです。学校の体育ではもの足りないそんな子どもたちが、ハンドボールの楽しさに触れ、いい汗を流し充実した時間を過ごすことができましたが、親や子どものさまざまな事情によって残念ながらクラブチーム発足にはいたりませんでした。けれども、子どもたちの笑顔とやる気と「ハンドは楽しいぞ」という思いを大事にしてくださった協会の方々が、協会の主催で週に1回の教室を作ってくださいました。
身体を動かすことは大好きだけど運動がちょっと苦手な子、運動が得意なのにそれを生かすことができなかった子など、明野近郊に住むさまざまな子どもたちが週に1度金曜日に集まってハンドボールを学び始めました。この10年ほどの間には、たくさんのコーチたちが教室のみんなに関わってくださいました。皆さんの関わりの根底には、「子どもたちがハンドーボールを楽しむこと」それをきっかけに「スポーツを楽しめること」があったように思います。
ハンドボールを通してスポーツを楽しむことを知ることができた子どもたちは、毎週金曜日のたった2時間ではありますが、その時間が待ち遠しい貴重な時間になってきました。
今も、ハンドボール教室では、新日鐵体育館での週に1度2時間の練習が変わらず続いています。
そのペースだからこそ続けられる子どもたちを、大切にしているからです。
今関わっているコーチの中には、ハンドボールが好きになって続けていってほしいと願っている人もいます。それはもちろんですが、まずはハンドボールを通して身体を動かすことの楽しさを知ってもらえたらと思っています。
ハンドボールというチームで競技するスポーツを通して、他人と一緒に何かをすることの楽しさや大変さと仲間を思いやる心を知ってほしいと思っています。週に1度ではありますが、何かを続けることに出会い、続けた続けられたという喜びを感じてもらいたいと思っています。続けられた自信などは、ハンド以外の違う道を見つけたり選んだりしたときも、その後の糧になると思いますので、楽しみながら続けられるように、保護者の方にも関わらせていただいております。
そんな中で、できれば「ハンドが好き」と思ってもらえるようになれば、関わっている私たちにとってどんなにか嬉しいことでしょう。そう思ってくれたのか、卒業生には、中学・高校・大学と今もハンドボールを続けてくれている子がたくさんいてくれます。
そして、多くの先輩たちがしてくれたように、時間を見つけては後輩の面倒をみに練習に訪れ、コーチたちとは違う視線と関わりで一緒に子どもたちを育んでくれています。
この教室には、現在明野近郊の7つの小学校の子どもたちが参加しています。
子どもたちは大変仲がよく、新しく見学に来た子どもたちとも不思議とすぐにうちとけてしまいます。
週に1度の練習ではもの足りなくなって教室をやめて他のチームに移っていく子を、快く送り出し素直に応援してくれる子どもたちがいます。
この教室は、何かを始める取っ掛かりを見つけるのにはとっても良い環境にあると思います。
ハンドボールに興味のある方はもちろんですが、仲間作り・運動・・・そんなきっかけを求めている方も、ぜひ1度見学にいらしてください。子どもたちもスタッフも、皆さんを歓迎します。